

# まち さん ぽ 街散歩

## 丸の内

江戸～平成、400年の時代の移ろいを見つめ続ける街——丸の内

### 皇居夕景



### 江戸城天守閣跡 天守台

“丸の内”と聞いて、まず思い浮かぶものは、やはり「オフィスビル群」。職業柄とはいえ、ビル名まで言ってしまう自分が悲しい。次に「東京駅の赤レンガ駅舎」。ライトアップされた駅舎は、少し古びた洋館のようで、とにかく一見の価値がある。そして、最後に「皇居」。といっても、実は足を踏み入れたことがない。知っているのは、テレビに映し出される一般参賀の光景だけ。こうして改めて考えてみると、私は“丸の内”のことをほとんど知らない。

—— そうだ、“丸の内”へ出かけてみよう。

皇居東御苑の本丸庭園奥に位置する天守台の石垣。記録によれば、天守台の高さは13.8m。その上の天守閣は44.8mで、日本最大だったという。1657年、明暦の大火で天守閣は焼失し、翌年焼けただれた石垣を取り換えて現在の天守台が築造されたが、その後天守閣は再建されることなく、現在に至った。

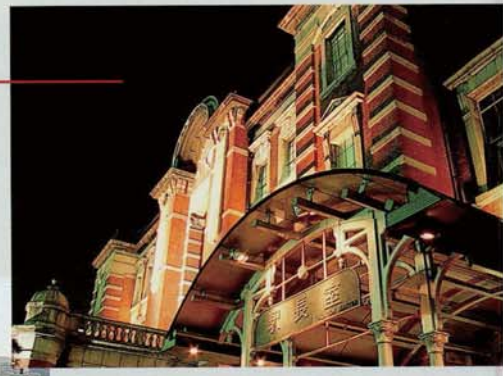


### 東京国際フォーラム

1997年、旧東京都庁跡にオープンした総合的文化情報施設。4つのホール棟とシンボリックなガラス棟で構成され、国際会議やコンサート、ファッションショー、展示会など、さまざまな催し物が開催されている。アートセンターとしての機能も持ち、随所に作品が展示されている。この広場の石も、「意心帰」という名のアートである。

# 東京駅丸の内駅舎

1914年に開業した当時は、銅板葺きの丸ドーム屋根、3階建ての赤レンガ駅舎だった。太平洋戦争で被災し、戦後の補修で、現在の2階建て八角形屋根の姿に。99年、東京駅を創建当時の3階建てに復元することが発表された。

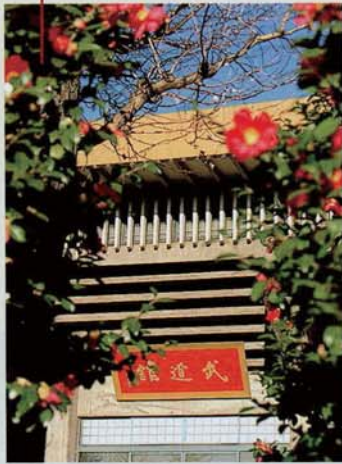


半蔵門と桜田門に挟まれた、江戸城の内濠(うちぼり)のひとつ、桜田濠。京大工の弁慶小左衛門の縄張り(設計)になるという伝承から、弁慶濠ともいわれる。晴れた日には、霞ヶ関の官公庁がよく映える。



## 桜田濠

## 日本武道館



1964年、北の丸公園内に開館。10月に行われた東京オリンピックでは、初めて正式競技に採用された柔道の競技会場として、世界中の注目を集めた。朱塗りに金で書かれた「武道館」の文字を右から読ませるところに、なんともいえない趣が感じられる?!

最初の目的地は、『皇居』。東京駅の丸の内口から行幸通りを歩く。ここは、特別な時だけ、儀装馬車が通るといふ。突き当たりの右手に、明らかに江戸時代のものだとわかる建造物が建っている。『桜田二重櫓』だ。奥の桔梗門と富士見櫓を併せると、まるで江戸時代にタイムスリップしたかのような錯覚を覚える。

近くの大手門から、『皇居 東御苑』へ入ってみる。まず二の丸庭園へ。非常によく整備された庭園には小さな滝もあり、サラリーマンやOLのちょっとした散歩コースになっている。そこから、なだらかな梅林坂を上り、本丸庭園へ。庭園全景を見ようと『天守台』に上ってみるが、その広さにはただ圧倒されるばかりだ。反対側には、富士山をイメージしたという北の丸公園の『武道館』の大屋根が見える。北桔橋門から、一旦外へ出てみた。同じ道を帰るのでは、つまらないと思ったからだ。乾濠から半蔵濠を

経て、『桜田濠』沿いをひたすら歩く。正直、こんなに歩くとは思っていなかったので、少し後悔。改めて、皇居の広さを思い知らされた。

日没までの間に、平成の“丸の内”を象徴する『東京国際フォーラム』へ。地下1階のドラゴンブリッジで、世界的にも珍しい「二次元泣き龍」現象を体験。ブリッジでパンと手をたたくと、「ビューーン」「パビューン」という音が返ってくるのだが、一人でこれをやるには、かなり勇気が必要だ。

日没間近、どうしても夕焼けが見たくて、もう一度皇居へ足を運んだ。刻々と変化する茜色の空は、ここが東京のど真ん中であることをしばし忘れさせてくれる。東京駅への帰り道、昼間見かけた『噴水公園』に立ち寄りしてみた。ここでは、夜しか見られない光と水の共演が繰り広げられていた。さて、最後は定番の『東京駅』で締めくくるとしようか。

## 桜田二重櫓



江戸城三の丸の辰巳(南東)の方角に位置する櫓(やぐら)。一層の出窓状の張出しは「石落し」で、下部に開けた穴からこの下を監視したり、石を落としたり、弓を射たりするためのものであった。後方に見える桔梗門は、幕府の要職者が登下城に利用。現在は、皇居参観者や勤労奉仕者が利用している。

## 和田倉噴水公園



1961年に、皇太子殿下(現天皇陛下)のご成婚を記念して造られた噴水を中心に、95年、リニューアルされた噴水公園。いくつもの噴水が数分ごとにパターンを変えるため、見ていて飽きない。夜には、フットライトと噴水の光だけで、幻想的な世界が作り出される。